



桂川中学校第2学年「総合的な学習の時間」

職場体験学習奮闘記

職場体験学習とは？

夏休みの8月21日・22日、9月10日から12日の5日間にわたって桂川中学校第2学年「総合的な学習の時間」を使つての職場体験学習が行われました。生徒128人は、職場体験実施場所54ヶ所に分かれてそれぞれの職場・仕事を体験しました。

この職場体験学習の目的は、早い段階で自分の特性をつかみ働くことへの関心を高め、働くことへの意義を見いだし、将来を見据えた進路選択の手がかりとすることです。そして、地域社会とつながりを持つことにより、社会的自立や社会性を身につけ、将来の生活にいかすことです。

生徒たちは、働くことの意義や自分の長所、短所や自分に向いている職業とは？についての学習を行い、就職活動しながらに自分たちで、将来の夢・体験したい希望職種等各事業所へ、体験学習受け入れを依頼し、今回の職場体験学習を行いました。

今回の「働くということ」の体験を機に、それぞれの将来の目標に向かって、学習、運動や友情を育んだり、さらに頑張つて学校生活に取り組んでもらいたいと思います。

キャリア教育

現在、教育現場では、新たな取り組みとして、学校の教育活動全体を通じて、児童生徒の発達段階に応じた早い段階からの組織的・系統的なキャリア教育の推進が行われています。このキャリア教育とは、児童生徒一人一人の勤労観・職業観の発達を支援し、それらを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育です。

このキャリア教育の導入の背景には、主に次のようなことがあげられます。

○就職・就業をめぐる環境の変化や、雇用が多様化している状況。

○若者の勤労観、職業観や社会人・職業人としての基礎的・基本的な資質をめぐる課題。

○進路意識や目的意識が希薄なまま「とりあえず」進学したりする若者の増加など。

キャリア教育には、生徒本人の頑張りはもちろん、学校、受け入れ企業・事業所だけでなく、地域が一体となって子どもたちを応援していくことが必要です。

今後、家庭、学校、地域そして町全体が協力して、将来を担う子どもたちを育む環境を作っていきましょう。



▲道の駅うすいで、納入されたトウモロコシの皮むき作業中。



▲海産物のパック詰め作業中。



▲「いらっしやいませ〜！」と元気のよい挨拶の後、給油・窓拭きを一生懸命にする生徒たち。(小路石油にて)

職業 各種販売業



生徒体験記

販売業では、何よりもまずは元気のよい挨拶が基本なのだということを感しました。

また、食品を扱う仕事では衛生面、清潔感の徹底が重要で、そのための掃除などは大変な重労働なのだということが、今回の体験をとおして分かりました。

販売業でのやりがいを感じる時は、やはりお客さんが「ありがとう。」といつて喜んでくれた時で、このために様々な努力を惜しまない事が大事なのだと分かりました。